

---

# この詩に揺蕩う

朝衣海美

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

この詩に揺蕩う

### 【コード】

N5360I

### 【作者名】

朝衣海美

### 【あらすじ】

色んなシーンに合わせた詩の詰め合わせ

## 消耗品

命ってやつが  
消耗品だと言ったら  
みんな笑っていたけど  
少なくとも  
体も命も老いる  
それはつまり  
「使う」からだ  
だからそう考えた  
命は  
人間は  
動物は  
形のあるもの  
形のないもの  
きつと  
存在する全てのものは  
消耗品なんだ

you

君は感じる？

僕にはわかる

同じ言葉じゃなくても

同じ姿じゃなくても

どんなことを云っても

何をして

君は君だから

## WAY

たとえばこの道の先で

君の瞳に映る全てのものが

何かを語っているとしたら

君には

それを受け取ることが出来るかい？

Deep Blue

誰の声も聞こえない

誰の手も届かない

人知れず

底深く・・・

深い青に抱かれて眠る真珠のように

あたしも眠ってしまいたい

## いたずらがき

最初はノートのはしっこに小さく書いた言葉

それがきっかけでたくさんのおいを記したこのノート

今僕の手にあるのはあの頃の想いが詰まったノート

日記ほどたくさんではなくて

詩と言えるほどのものじゃないけど

ほんのつたない言葉で一つ一つ

ありったけの想いをこめたり

なんてことない一言だったり

ただ何気なく思いついたものだったり

たくさんのおいたずらがきを

今僕が

誰かに伝える言葉に変えよう

## はしっこ

みんなとちがうから

ぼくははしっこ

みんなとおなじじゃないから

ぼくははしっこ

おんなじふく

おんなじかみのいろ

おんなじきもち

おんなじ・・・

だれでもないぼくが

だれかとおなじだったら

ぼくはぼくじゃない

だからはしっこ

ぼくはすきさ

## トリカゴ

自分の中にある本当の自分こたえが見えなくなったら

心の鳥籠に呼び戻しに行ってください

そこにはきつと

小さくなり蹲って震えている自分こたえがあるはずだから

今にも叫び出しそうな自分こたえがあるなら

心の鳥籠に閉じ込めに行ってください

いずれそれは

小さくなり静まって消えていく自分こたえになるでしょう

もしも自分こたえに自信がなくなつたのなら

鳥籠を壊しに来てください

すぐに次の鳥籠を用意しましょう

## 僕の哲学

僕は何故ココにいるの？

僕の目は何故見えるの？

僕の手は何故触れるの？

僕はどうしてこんな声なの？

僕の体はなんだろう？

僕は何？

人間て何？

世界って何？

ふと思うこと

僕の哲学

## 零

君は太陽

あたしは月

深い蒼にのまれて輝くことを諦めたあたし

君の瞳から零れ落ちた涙は

あたしの心の中

生まれた気持ち

暖かさ

温もり

君に触れて

君に触れて

あたしは

体温を2度3分上げた

e p i c u r e a n

貴方が欲しい  
ただ自分のために  
あたしだけのために  
大好き  
手をつなぐ  
体をつなぐ  
心はつながらない  
一つにはなれない  
そばにいる  
キモチのイイコト  
愛してる

この愛が・・・

優しいだけじゃイヤ

厳しいだけでもイヤ

あたしだけにその笑顔を見せて

あたしだけに囁いて

あたしだけの貴方でいて

この高慢で我侷な愛が

いつかあたしを満たしたら

貴方はあたしを許して

あたしだけのものになってくれる？

空を泳ぐ

光の海

暗い水の底

その間を

まるで空を泳ぐようにして

限られた自由を楽しむ

揺れる光

蠢く影

幻想の中

空を泳ぐ

## 太陽と雲

見たかったのは太陽

見えたのは空

でも・・・

白が空？

青が雲？

目に映るものは・・・真実？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5360i/>

---

この詩に揺蕩う

2010年10月15日04時25分発行